

知財・事業の概要および知財ビジネス報告書作成の目的

製造業
特許・意匠・商標・ノウハウ

寿司マシン・成型マシンのコア技術（シャリ成型方法、巻き寿司成型機構、にぎり寿司自動化等）を駆使して世界各国への販売を行っている。
新たな事業拡大方針の整理のために知財ビジネス報告書の作成に取り組んだ。



主力事業であるにぎり寿司製造マシン

知財ビジネス報告書への記載概要

過去～現在 (As-Is)	知的財産（強み・壁）をいかにして生み出し、安定した事業に貢献しているかについてストーリー化する	現地ニーズに適した製品仕様変更、創業1972年から蓄積された課題解決力、当社製品を活用した事業化支援、競合他社と差別化されたブランド戦略という4つの特徴を持つ知的財産を武器に、競合の追随を許さない現地適合型製品をグローバルに展開し、持続的な高収益モデルを構築している
	将来像の実現に向けた課題およびその解決の方向性（事業構想）を明確化する	2027年発売予定の新モデルに向け、開発人材や外部デザイナーの選定・確保、知財戦略（意匠・商標取得）体制が現状限定的で、十分なりソースが未確保という課題に向け、外部デザイナー・技術者の活用、開発チームの増強の必要性を整理
現在～将来 (To-Be)	将来像の実現に向けた実行計画をストーリー化する	外部デザイナー・技術者の活用、開発チームの増強のため、社内人脈を活用して海外デザイナーの起用を検討中。また、他社との差別化ポイントであるシンプルで壊れにくいという特徴を活かすべく海外新興国への進出への可能性も整理

尼崎信用金庫からの評価結果

知財ビジネス報告書 を通じて認識した強み	改めて認識した点	・1972年創業以来培ってきた技術ノウハウ。 ・安価だが壊れにくかつ低価格で製品を提供できるコスト戦略。 ・海外での生産ノウハウ。
	新たに認識した点	・現地販売店やエンドユーザーからの声を直接ヒアリングし、フィードバック・製品改良に反映できる柔軟な対応力。 ・長年のノウハウに基づいた課題解決力や現地市場ニーズに合致させたスシ製造機の提案力。
知財ビジネス報告書 を通じて認識した課題	改めて認識した点	・生産供給力、キャパシティが不足しているため、生産供給が需要に追いついていない。 ・人材、資金力、資材調達・販売力といった経営資源の不足。 ・関税やコロナパンデミックといった外部環境に翻弄される。
	新たに認識した点	・従前は協力企業であった中国企業が競合先（低価格製品）となった場合の対抗策が未着手。 ・全世界で急成長しているスシ需要に対して、自社の事業規模では十分な供給ができていない、というジレンマを有しており、人材、資金力、資材・販売網といった基本的な経営資源が必要なこと。
将来のビジネス展開に 向け金融機関として サポートできる点	・同社が認識できていない課題を抽出することが、今後の事業展開を考える上で不可欠と考える。 ・そのために、従業員による「課題抽出プログラム」（当庫商品名：あましんサポートプログラム）を取り組み、従業員が認識している課題と新たに抽出された課題（誰も認識しておらず、新たに見出された課題）を社内で共有する。 ・社長が永年の経験から培ったノウハウやスキルは暗黙知化されているので、これらを形式知化する必要がある。ついては知財専門家と形式知化に努める。 ・さらなる海外展開のために、当庫国際部や場合によっては当庫の上部組織である信金中金と連携をとる。	

トップ社からのコメント

知財ビジネス報告書の作成を通じて得られた 新たな気づきがあったか	自社の技術力や独自性が、グローバル展開においても競争力を持つ価値ある知的財産であることを新たに認識した。また、市場規模や事業ポテンシャルを客観的に把握することで、成長に向けて強化すべき課題と方向性が明確になった。
知財ビジネス報告書をどう活用できそうか	自社知的財産の価値を再認識し、それを課題解決や今後の成長に向けた取り組みに活用する。